Press Release

ASBJ FASF 企業会計基準委員会
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル20階
TEL. 03-5510-2737 FAX. 03-5510-2717
URL http://www.asb.or.jp/

2006 年 9 月 29 日

会計基準のコンバージェンスに向けた共同プロジェクトの第四回会合開催

企業会計基準委員会
国際会計基準審議会

9 月 28 日及び 29 日、企業会計基準委員会(ASBJ)と国際会計基準審議会(IASB)は、会計基準のコンバージェンスに向けた共同プロジェクトの第四回会合をロンドンで開催しました。この会合には、ASBJ から斎藤委員長、西川副委員長及びスタッフ、IASB から Tweedie 議長をはじめ 3 名のボードメンバー及びスタッフが参加しました。

今回の会合では、ASBJ 及び IASB の参加者は、以下の項目について議論を行いました。

- 2006 年 3 月からの「全体像アプローチ」に含まれる短期項目の進捗状況
- ASBJ が最近公表した実務対応報告第 18 号「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(*) 及び、ここで扱われている項目を今後のコンバージェンス・プロジェクトの中で検討することの合意
- IASB が再審議中の負債に関する公開草案（IAS 第 37 号）
- 無形資産及び遡及修正に関する ASBJ のリサーチ・プロジェクトの進捗状況
- 収益認識及び財務諸表の表示に関する IASB と米国 FASB との共同プロジェクトの最近の進展
- 概念フレームワークを ASBJ がまもなく完成させる計画

このような議論や意見交換により相互理解を深めることは、ASBJ 及び IASB での今後の審議に資すると考えられます。

さらに、ASBJ 及び IASB は共同作業を継続するための計画を了解し、それぞれのプロジェクト・プランを確認いたしました。次回の会合は、来年 3 月に東京で開催する予定です。また、将来のコンバージェンス会議のテクニカル・セッションは、公開とすることも決定しました。

(*) 当該実務対応報告では、国際財務報告基準（IFRS）又は米国会計基準に準拠して作成されている在外子会社の財務諸表を日本基準で連結するにあたり、重要性が乏しい場合を除き、調整の必要がある項目を示している。